

## は じ め に

近年の急激な技術革新，社会構造の変革が進む中，私どもを取り巻く環境は，酸性雨を始めとして地球温暖化，オゾン層の破壊といった地球的規模での汚染が深刻化しつつあり，地球規模という空間的な広がり，将来の世代にわたる影響という時間的な広がりをもった多面的な対応が求められています。

このような中，地球環境問題という人類の共通かつ普遍的な課題に対して，地球市民的規模での活動が国際的にも行われ，わが国においても本年は，6月5日を「環境の日」として制定した最初の年に当たり，各地で多数の人々が参画して環境へのやさしさを実践するなど，環境に対する意識の高揚と認識が深まっているところであります。

このような状況を踏まえ，私ども研究所職員一同といたしましても，環境行政の科学的，技術的中核として，これまでもまして，多種多様化する市民ニーズに応え，複雑化する社会変革に対応するため，一層の科学的知識と技術の研鑽に努め，身近な公害問題から地球的規模にわたる環境問題までの幅広い調査研究に取り組み，よりよい環境を育てまいりたいと考えております。

この度，1993年度の業務概要と調査研究のまとめとして，川崎市公害研究所年報第21号を刊行いたしましたので，ご高覧のうえご意見ご批判をいただければ幸いに存じます。

1995年3月

川崎市公害研究所

所 長 山 田 茂